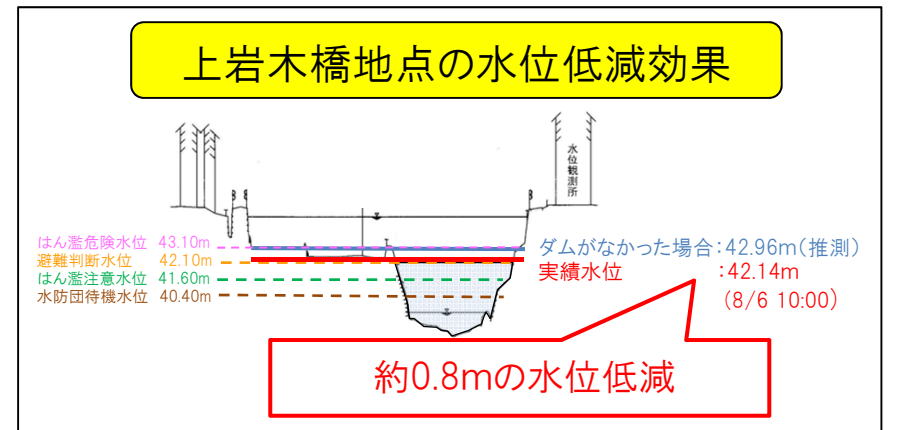
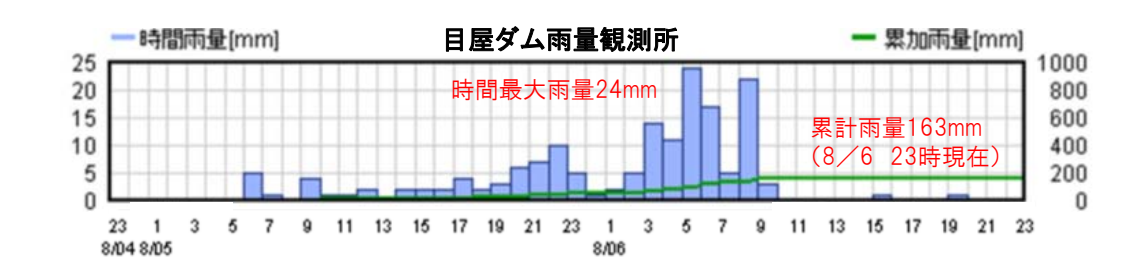
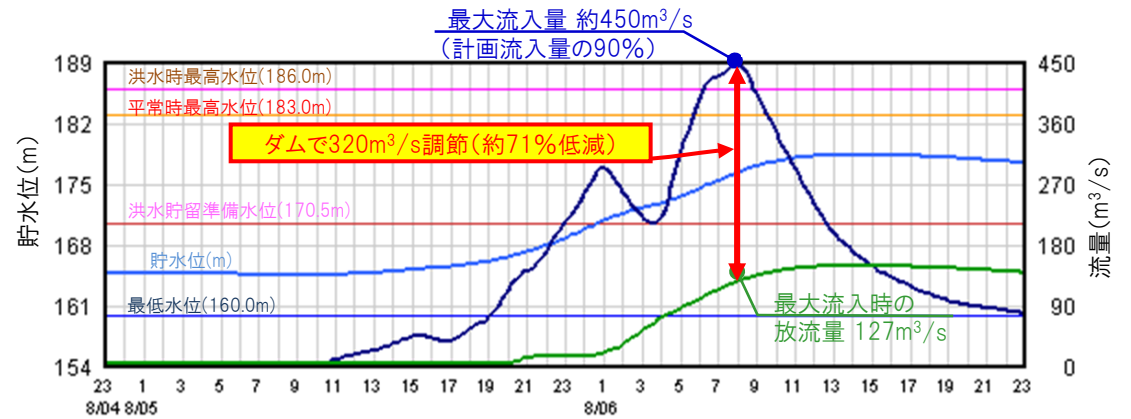
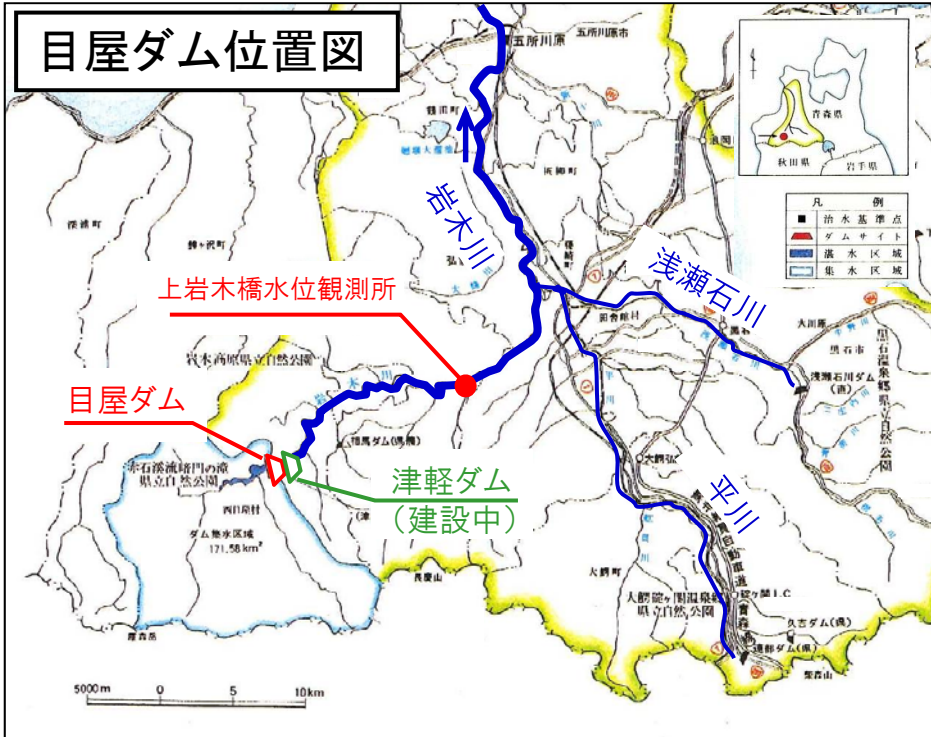


# 岩木川水系 目屋ダムの効果(平成26年8月5日～6日前線)【速報 1/2】

青森県

- 目屋ダム流域では、平成26年8月5日～6日にかけて低気圧からのびる前線の影響で累計雨量が163mmに達し、ダムへの最大流入量は計画流入量500m<sup>3</sup>/sに迫る約450m<sup>3</sup>/sを記録。
- 今回の洪水調節により、最大320m<sup>3</sup>/sをダムで調節し、下流河川の水位を低減。
- ダム下流の上岩木橋地点(弘前市大字下湯口付近)では、水位を約0.8m低減させる効果があったものと推測。
- なお、直下流では目屋ダムの機能を確保しながら「津軽ダム」(東北地方整備局)を建設中であり、完成後にはさらなる治水効果が期待される。



## 出水状況写真

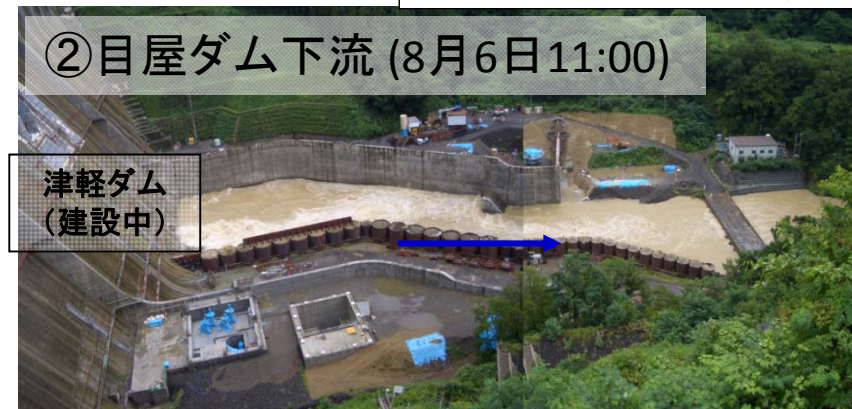
①目屋ダム貯水池状況(8月6日14:20 最高貯水位178.48m)



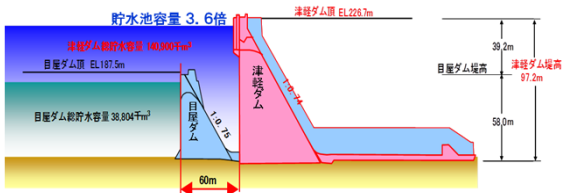
参考:ダム貯水位 165.30m (8月4日 9:00撮影)



②目屋ダム下流(8月6日11:00)



目屋ダムと津軽ダムの比較断面図



4日8:00頃撮影 水位 0.34m



6日8:00頃撮影 水位 3.36m (ピーク10:00 水位 3.39m)



6日10:00画像 水位42.14m (ピーク10:00 水位42.14m) はん濫危険水位43.10m

